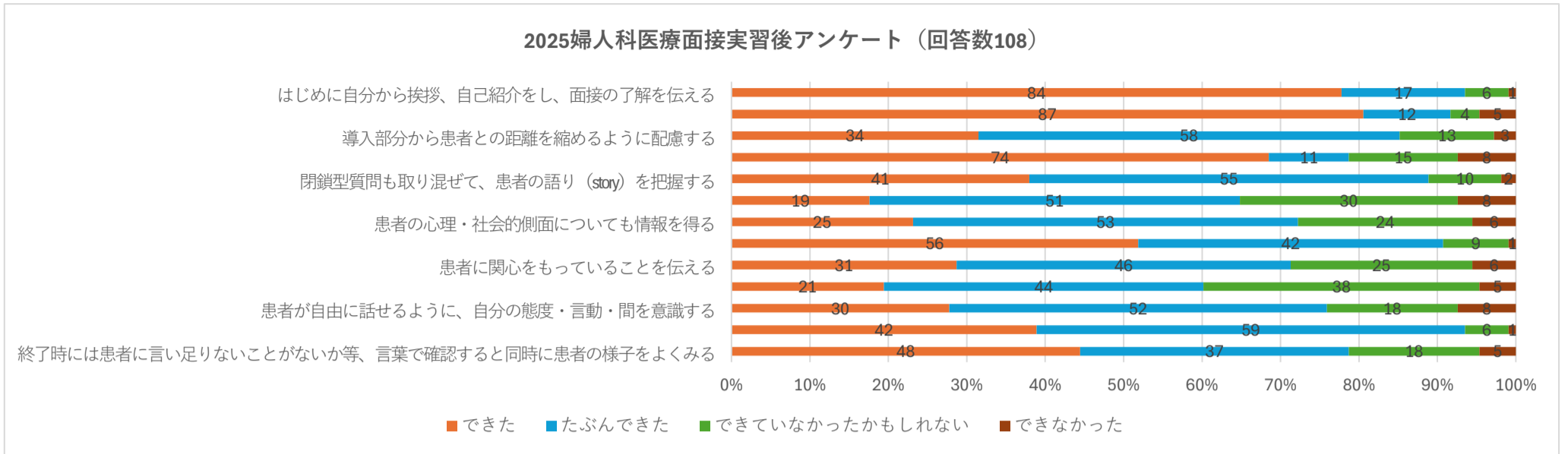


## 2025婦人科医療面接実習後アンケート（回答数108）



- 1 婦人科特有の聞くべきことを先生に教えていただいたのでとても参考になりました。
- 2 産婦人科で聞くようなことを全然理解できていないことが知れ、聞くべきことをしれたのでよかった
- 3 模擬患者さんから、周りから、先生からのフィードバックがいただけたため
- 4 忘れかけていた医療面接を思い出すことができ、また産婦人科特有の質問もありそれを学ぶことができた。
- 5 久しぶりだか、思い出せてよかった
- 6 婦人科で聞くべき項目を知ることができた。
- 7 OSCE以来初めての面接だったから
- 8 客観的に自分に足りないことがよくわかりました。
- 9 OSCEからさらにステップアップしより実践的だと感じたから。
- 10 医療面接しか考えていなかったなのでその先を考えるきっかけになった
- 11 医療面接をしてフィードバックをもらって自分の足りないところに気づくことができた。
- 12 婦人科の医療面接はどのようにしたら良いのか、どのようなことを聞いたらいいのかを知ることができたから。
- 13 婦人科特有の質問の仕方などを学べた
- 14 実際に面接することで、妊娠の可能性というデリケートな質問に対する向き合い方を考えることができた
- 15 問診において気をつけるべきことを整理することが出来ました。
- 16 産婦人科特有の質問をどこまで踏み込めばいいのか練習、フィードバック頂けたのでよろしく。
- 17 婦人科という専門の科での診断を体験できてよかった。
- 18 自分の改善点が見つかったから
- 19 具体的に妊娠の場合や、月経異常の場合の話はこれまでしてこず、触れていいのか疑問も多かったので、勉強になりました。
- 20 鑑別診断をするために、もっと診断学を学ぼうと思えたから。
- 21 普段できない実戦練習を積むことができたから。
- 22 産婦人科特有の質問の仕方について知ることが出来たので良かった。
- 23 初心に帰れました
- 24 オスキーのような主要症状が主訴で来るのではなく、産婦人科独特の主訴を患者さんが訴え、何を聞いていくべきかしっかり考えながら進めていきました
- 25 医療面接を久しぶりにしてよい復習となった。専門医の先生が解説してくださって勉強になった。
- 26 医療面接の練習ができる貴重な機会、今後の実習の中でも聞くべきことなどをもっと意識しようと思いました。
- 27 1週間実習を通して患者さんと接する中で気をつけたいことを意識しつつ練習できたため。
- 28 具体的にどのような問診をするべきか教えていただいた。
- 29 実際に学生ではない模擬患者さんに患者さん役を演じていただき、実際の医療面接に近い形式で練習でき、非常にためになったから。また、医療面接の練習機会がそもそも少ないため、非常に有意義な時間となった。
- 30 実際にやってみることで、難しさを感じ、友達の間診も聞くことで、自身との違いを感じ、どのような問診にしたらよいかを客観的に考えることもできた。
- 31 医療面接の練習の機会を取れて良かったし、先生方のアドバイスや周りからのフィードバックがとても勉強になった。
- 32 久しぶりの医療面接で、婦人科に特化しているということで、初めての体験でした。
- 33 自分の至らない点を実感できてよかった
- 34 そもそも機会がなかったので、ありがたかったのと、OSCEよりも臨床的な練習ができて、たいへん有意義でした
- 35 産科婦人科疾患の鑑別のための質問について学ぶことができたのが良かった。
- 36 いい経験だった
- 37 産婦人科特有の質問事項について多く学べたため。
- 38 自分のできていないことを認識することができたため。

- 39 産婦人科の医療面接で何を聞くべきか知ることが出来た。
- 40 実際に模擬患者をまえにすると、聞きたいことをうまく聞けなくなる。そのための練習にはとてもよいとおもいました。
- 41 久しぶりに問診のトレーニングをした。
- 42 ちょっと時間経っただけで面接の仕方を忘れてしまうことに気づきました。
- 43 なかなか実際に問診をする機会がないので、良い勉強になった。
- 44 婦人科で特有の聞かなければならないことをどのように聞いたらいいのかが学べた。
- 45 オスキー以来の久しぶりの医療面接で、以前は出来ていたことが出来ないことを確認したし、婦人科での質問の仕方や内容について理解できた。
- 46 いい復習になった
- 47 なかなか医療面接をすることがなかったので、とても良い機会だったため
- 48 久しぶりの医療面接で勉強になりました。
- 49 産婦人科特有の鑑別とそれに対応する質問を学べたから。
- 50 婦人科の問診について学ぶことができたから
- 51 聞かなければいけないことを忘れてしまっていたので、思い出す良い機会になりました
- 52 久しぶりの医療面接で緊張したがとても良い練習ができたと思います
- 53 復習になりました
- 54 久しぶりに医療面接をしたため、良い復習になった
- 55 苦手であることを再認識できたから
- 56 婦人科特有の質問項目や質問の仕方などを学べたのでとても良い経験になりました。
- 57 産婦人科領域の医療面接が初めてで難しかったが、検査について自分なりに詳しく説明できたので良かった
- 58 CBT以降、医療面接をやっていなかったので、初診の患者さんの困っていることを聞いて疾患を考えて、さらに質問を考えるのが非常に勉強になった。
- 59 OSCEや実臨床にもつながるから。婦人科疾患は特に聞きづらかったり、特殊な内容を聞くイメージがあった。
- 60 婦人科の面接を練習する機会を得ることができたため。
- 61 忘れていたOSCEの医療面接を思い出せたため。
- 62 妊娠の可能性がある方に対する質問は勉強してこなかったので、どんなふうに質問するかを学べた
- 63 自分に足りていないところが浮き彫りになりました
- 64 実際に臨床実習を始めた中で医療面接を久しぶりに行って難しさを感じた。
- 65 4年生のオスキーをしたのが結構前で、忘れていたことが多かったのですが、今回の実習で思い出せたのがよかった。実際の臨床に役立てたいと思った。
- 66 オスキーのいい復習になった、先生に見られるので久しぶりに緊張する実習だった
- 67 学ぶことが多かったです。問診を磨きたいと思いました。
- 68 オープンクエスチョンとクローズドクエスチョンの割合について考えさせられた
- 69 以前の定型的なものとは違い、鑑別疾患を考えるオスキーができたこと
- 70 自分の質問の仕方が患者にとってどう捉えられるのか？など、自分の診察を客観視できるのが大変良かった。
- 71 オープンクエスチョンの重要性を再確認した
- 72 医療面接の試験から日が経っていて忘れていたことが多いことに気づけたから
- 73 女性の生理について知らないことが多かったのでそれを知ることができた
- 74 産婦人科症例での医療面接はいままでやったことがなかったので、産婦人科特有の質問事項などについても学ぶことができた。
- 75 医療面接のやり方を思い出せた
- 76 OSCEから1年が経過しているタイミングだったため忘れていたことが多く、思い出すためにもいい機会だった。
- 77 久しぶりだったので、聞くべきことや流れを思い出し、確認することができた。
- 78 なかなか面接の実習をすることがなく、フィードバックをもらえたのがよかった。
- 79 面接の実習はずっと前にやってからやっていなかったのでやれてよかったと思ったから
- 80 オスキーの時は流れに沿って聞くべきことを聞くということを重視していましたが、今回は婦人科疾患の鑑別に着目して問診したためすごく理解が深まりました。
- 81 復習になった
- 82 久しぶりに医療面接をできたから
- 83 産婦人科に必要な質問を知ることができた
- 84 OSCEから1年ぶりということもあり、いい復習になった
- 85 先生に有用なアドバイスをいただけたため
- 86 医療面接の練習の機会がなかなかないのでありがたいです
- 87 何もわからない状態から体系的に質問して情報収集をする機会が実習であまりなかったので、貴重な機会となりました。
- 88 産婦人科の医療面接では、4年次のOSCEよりも詳しいことが求められるから。
- 89 患者さんと相対している状況で鑑別診断を見極める質問を体系的に思いつく作業の難しさを感じた
- 90 OSCEの再現をするだけでなく、疾患の鑑別を同時に考えながら診察することを学べたので有意義でした。
- 91 久しぶりに医療面接をし、改めて接し方や質問の仕方について学び直すことができたから。
- 92 OSCEの医療面接以来真剣に医療面接を行う機会は少なかったので、久しぶりに緊張感を持って面接練習ができたことがよかった。
- 93 約1年ぶりの医療面接であったため、久しぶりに面接をして難しかったと感じた。また、婦人科領域だったため、質問内容がより難しく、復習する必要があるとあると強く感じたから。
- 94 オープンクエスチョンで患者の状態を知ること、患者が言いたいことをきちんと聞き出すことが大切だと再確認できた